

# 航空調査業務のご案内

大空から、最新の技術で、環境情報を提供します。

当社では『陸・海・空』から環境を総合的に調査・解析するため、1996年よりヘリコプターを導入し、最新の技術を用いて調査を実施してまいりました。

環境は『山～川～海』と連続したものであり、広い視野で環境を連続的に把握することは重要です。航空機による調査は、広域を短時間で面的にデータを取得するには最適な手法です。



当社が保有するセスナ機



当社が保有するヘリコプター

## 空中写真・空中ビデオ

広い視野で事業計画の資料、環境事象の把握を行います。

- 事業計画(港湾計画、ダム計画、道路計画等)の資料として
- 環境事象(濁水の拡散状況、赤潮・青潮・アオコの発生状況等)の把握
- 景観検討(フォトモンタージュ)
- 洪水、地震、環境事故等の状況把握



港湾計画の資料



濁水の拡散



浮遊ゴミの分布



船舶火災による海洋汚染



洪水被害



ダム計画

## リモートセンシング

航空機・人工衛星リモートセンシングにより広域的かつ高解像度で調査を行います。

- 温度、濁り、クロロフィルの分布
- 海草藻場、珊瑚礁、植生等の分布
- 赤外線センサーを用いたヒートアイランドの調査
- 大型生物の生態調査

### 航空機リモートセンシングによる調査 (水温、濁度、クロロフィルの分布)



水温分布



濁度分布

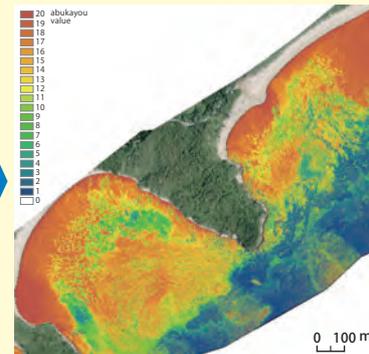


クロロフィル分布

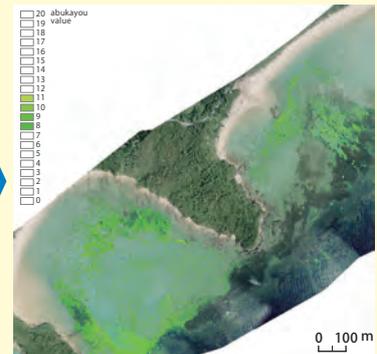
### 航空写真による藻場分布域の抽出



航空写真



クラスター分析による解析



藻場分布域の抽出

## GIS(地理情報システム)による解析

GIS(地理情報システム)を用いて、航空機による調査データと陸上・河川・海域調査データとを組み合わせることで、より正確な環境解析が可能となります。

### 業務実績

- 熱赤外線カメラを用いたニホンジカの分布・生態調査：環境省、栃木県
- MSS(マルチスペクトルスキャナー)を用いた発電所温排水の分布調査：A電力会社
- MSSを用いた海域の水温、濁度、クロロフィル分布調査：国土交通省
- 航空写真撮影によるサンゴ分布調査：環境省
- 航空機による大型海生生物の分布・生態調査：環境省、防衛省

お問い合わせ先

E-mail : [idea-quay@ideacon.jp](mailto:idea-quay@ideacon.jp)

